

文科省の佐野課長が資料1-2(平成22年度文科省宇宙予算)を6分程で説明した後、質疑応答はなかった。(平成21年度に比べかなりの予算減になったが、第2次補正を加えると3.1%減の小幅に止まる。22年度23年度に打上げを予定している各種衛星については補正を含めると夫々増額になり、順調に打上げの準備を進める事が出来る額を確保した。減額の主要なものは、H-B ロケットと LNG 推進系で、前者は開発の完了に因るもので、後者は GX 計画を停止して LNG エンジンの開発に絞った事に因るものである。)

佐野課長:

(語り出し部分・省略:資料1-2を示した。)...22年度予算案として、右側に書いて御座います様に1854億円が計上されております。此れとプラス2次補正の予算案と云う事で51億円が今、案として計上されている処で御座います。21年度予算が1966億円でしたので、此の補正まで入れると、1854と51を足しますと1904億円と云う事で、前年度62億円の減、3.1%の減と云う事になるかと思えます。

個々具体的な、今年度に比べて来年度の予算案が増えたものと及び減ったものについて、簡単にご説明させて頂けたらと思えます。

先ず、此の資料の左側の処に地球環境変動観測ミッション GCOM について書いて御座いますが、此れは今年度72億円ですが、今36億円となって御座います。此れにつきましては先程も一寸申し上げました2次補正案に於きまして、GCOM-W の経費

が51億円計上させて頂いておりますので、事業費ベースでは72が87になって、15億円増えたかナァと云う風にも思っております。で、増えたものとしてはALOS-2が10億円から20億円の増額も形状になって御座います。更に、宇宙科学と云う点で、来年度打上げを予定しております PLANET-C につきましては左の下の方に御座いますが、61億円が97億円と云う事で、36億の増になって御座います。

右側に行きまして、超小型衛星等の推進と云う事で、内局予算ではありますが、「超小型衛星研究開発事業」が新規で3億円が立っている処と、小型ロケットにつきましては2億円が20億円と云う事でプラス18億円の増になって御座います。

主な増の項目は以上の通りですが、減になってる項目を申し上げますと、先ず左の方で御座いますが、準天頂衛星システムが93億円から81億円に減になって御座いますが、此れは今年度の1次補正で37億円、既に前倒しで計上させて頂いておりますので、来年度の打上げには全く支障のない予算の形になっていようかと思えます。

右側に行きまして H-B ロケットと云うのが86億円から14億円減になって御座います。H-B ロケットについては、ご案内の通り開発は一応一段落したと云う事で、斯う云う形になって御座います。更に LNG 推進系と書いてありまして、107億円から30億円になって御座いますが、此れにつきましては、概算要求の時は GX ロケット(LNG 推進系飛行実証プロジェクト)と云う名称で御座いましたが、事項を変更いたしまして、今、LNG 推進系と云う事で30億円を計上させて頂いてる処で御座います。

次の頁に、今回予算案を策定するに当たりまして、地球環境に貢献する地球観測衛星の開発の推進と云う事と、世界をリードする独創的な宇宙科学の推進と云う事、更に宇宙利用の拡大に貢献する超小型衛星等の開発と云う、其の3点について個々に細かく中身が書いて御座います。あの、具体的な説明は割愛させていただきます。

最後の頁には LNG 推進系、先程言及致しましたが、これにつきましては事業仕訳などの結果を参考に致しまして、ご案内の通り 21 年 12 月 16 日に内閣官房長官、宇宙担当大臣、文科大臣、経産大臣の 4 者に於いて、「GX ロケット及び LNG 推進系に係る対応について」って云うのを決定致しました。此の決定を受けまして、GX ロケットの搭載を前提として LNG の予算計上は見送る一方、エンジンの高性能化、或いは高信頼性化に向けた研究開発等を行いまして、将来の国内外のロケットや軌道間輸送への適用を視野に、国際競争力のある、汎用性の高いエンジンの技術の確立を目指すと云う事で予算案を 29.5 億円計上している処で御座います。

以上が予算の説明で御座いますが、来年度打上げが予定されております準天頂衛星、PLANET-C、更には HTV の運用機 1 号、さらいねんの 23 年度に打ち上げ予定の GCOM-W 或は HTV の 2 号機、其れの、先ずは此の 22 年度 23 年度の打上げが十全に達成出来る様に予算編成は、予算の案は組んだ心算で御座いますし、24 年度以降についても、此の儘順調に行けば、基本計画に書いて御座います衛星の打上げ等については、予定通り打上げさせて頂ける様な形になろうかと思って御座います。

以上で御座います。

松尾委員長: どうも有り難う御座います。ご奮闘を...(以下省略)